

No.	該当箇所	質問	回答
1	委託業務仕様書	(3 委託期間) 委託契約締結時期はいつ頃を予定しているか。	審査委員会を7月下旬に予定しており、その後、契約手続きを行うため、8月上旬以降を想定しています。
2		(4 事業内容) 適地評価を実施するにあたり、近隣のアンモニア需要量の開示は可能か。開示できない場合は、受託者がケースを設定する理解でよいか。その場合、需要に対する拡張性や、初期需要に対して、ターミナル（タンクの適地等）として想定した敷地が妥当であるかを評価するものと認識しているが問題ないか。	適地評価に必要となる想定需要家及び需要見通しについては、委託契約締結後に、参考情報として、アンモニアサプライチェーン構築・利用WGにおける討議や構成員との意見交換をもとに試算した結果を、検討の前提条件として、WG事務局から提供する予定です。 需要見通しにおける変動要件によるケース分けについては、WG事務局と協議のうえ、設定をお願いいたします。 なお、企画提案時点では、企画提案者において、想定需要量・ケース等を仮定してください。
3		(4 事業内容) 同じ需要量で複数のタンク等設置候補地を想定し、適地評価を比較検討するという理解でよいか。	適地評価に必要となる想定需要家及び需要見通しについては、委託契約締結後に、参考情報として、アンモニアサプライチェーン構築・利用WGにおける討議や構成員との意見交換をもとに試算した結果を、検討の前提条件として、WG事務局から提供する予定です。 適地評価において、比較検討は一つの評価手法であると想定されますが、本手法のみに限定するものではありません。 なお、企画提案時点では、企画提案者において、想定需要・タンク等設置候補地（数か所程度）を仮定してください。
4		(4 事業内容) 一部の業務については、現地設備に知見のあるエンジニアリング会社から入手した情報を元に企画提案者の知見を加えて成果物を纏めていく方針だが、その前提でよいか。	本事業では、検討する事項が多岐に及ぶことも想定されるため、専門的知見を有する他業者の協力を仰ぐことを否定するものではありません。ただし、企画提案書には、想定される実施体制、再委託等の有無及び予定等について記載ください。

5	委託業務 仕様書	<p>(8 会計関係資料の作成及び提出等に係る留意事項)</p> <p>証拠書類とは具体的にどのような書類が対象となるか。</p>	<p>仕様書、見積書、発注書、納品書、検収調書、請求書、支払証明書（銀行振込受領書）等の一連の契約の流れ及び支払いの事実が分かる証拠書類が対象となります。</p>
6		<p>(8 会計関係資料の作成及び提出等に係る留意事項 (2) 人件費)</p> <p>指定の様式等はあるか。また、作業項目に関してどの程度の細分化が必要となるか。仕様書記載の以下項目ベースでの実績報告を想定しているが問題ないか。</p> <p>①必要と考えられるアンモニア供給インフラの概要</p> <p>②対象地区内におけるアンモニア供給インフラ導入イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要設備の設備仕様一覧（設備容量／特記事項等） ・ 対象地区内における導入イメージ（着積候補地、主要設備導入箇所及びパイプライン想定ルート等 <p>③アンモニア供給インフラ導入に関する適地評価結果</p> <p>④インフラ導入にあたるコスト規模</p> <p>⑤インフラ導入の課題の洗い出しとその解決に向けた検討結果</p>	<p>指定の様式はありませんが、人件費の積算方法等が明確であることが必要です。なお、項目については問題ありません。</p>